

M O N T H L Y **vol.30** U P



インクジェットが可能にした、
手軽で簡単、カラープリント。

インクジェットテクノロジー、 その発展の源は、 私たちの色に対する要望です。

見る人の注意をひきつけ、
メッセージを効率良く伝えるカラー表現。
インクジェットプリンタの登場により、
誰でも手軽に簡単に、色を使うことができるようになりました。



紙の表面に特殊なコーティングが施された、官製の年賀ハガキや暑中見舞ハガキ。これはインクジェットプリンタを使用することで、美しい写真や鮮やかな色彩を表現できるハガキです。すでに毎年のように利用されている方もいらっしゃると思います。手軽に美しいカラー印刷を行えるインクジェットプリンタは、年賀状や招待状など個人で作るちょっとした印刷物に必要なアイテムと言えるでしょう。

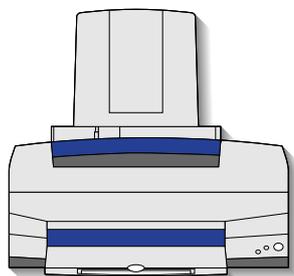
プリントヘッドが左右に往復しながら、用紙に液体インクの粒子を噴射する。このインクを吹きつける技術こそ、インクジェットプリンタの基本ですが、その方式にもいろいろなものがあります。大きく分けると2つ、コンティニュアス型とオンデマンド型に分かれます。コンティニュアス型は、ノズルから常にインクの吐出しが行われ、必要に応じて電荷をかけることで、印刷を行います。1960年代には実用化され、インクジェットテクノロジーとして最も長い歴史を持ちます。しかしながら、画像の解像度をコントロールするのが難しく、複雑なインクの循環システムを維持するのが困難。高速で、小さな文字を印刷できるという特性を活かし、主に産業シーンで活用されています。

一方、家庭向けプリンタとして、必要に応じてノズルからインクを噴出する、オンデマンドインクジェットプリンタ。このオンデマンド型にもいくつかの方式

があり、現在、特に普及しているものにピエゾ方式とサーマルインクジェット方式があります。電圧を加えることで伸縮運動を行う、ピエゾ(圧電素子)という物質を利用して、インクを噴射させるピエゾ方式。プリンタヘッドに熱が伝わらないという構造上の特性から、幅広いインクが使用でき、より美しいカラープリントを提供することが可能です。これに対してサーマルインクジェット方式は、“熱”によってインク内に気泡をつくります。この泡の圧力でインクを飛ばすという構造です。構造が単純なため、コストダウンしやすく、比較的高速でプリントすることができます。

普通、印刷物の色材には顔料インクが用いられます。これは耐水性・保存性などの面から顔料インクが優れているためです。しかし、インクジェットプリンタでは染料インクが主流。理由として顔料では粒子が大きく、インクの吐出しノズルを詰まらせてしまう危険性があるからです。他にもメーカーやモデルごとに仕様が異なることから、各プリンタ専用のインクカートリッジが必要になるなど、利便性においてもまだまだ発展の可能性はありそうです。

銀塩写真プリントと遜色ないレベルまで、カラー表現技術が向上したインクジェットプリンタ。それだけに発色性・保存性に優れたインクの開発や使い勝手の向上など、さらなる進歩が期待されています。





<http://www.sezax.co.jp>

本社・工場	〒146-0091 大田区鶴の木2-9-7	TEL 03(3758)2511(代)	FAX 03(3758)2754	
		営業専用	FAX 03(3758)2544	
渋谷コア	〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル6F	TEL 03(3400)9211(代)	FAX 03(3409)7315	
		5F	TEL 03(3400)9401(代)	FAX 03(5468)9253
マニュアル企画部	〒146-0091 大田区鶴の木2-9-7	TEL 03(3758)2591(代)	FAX 03(5482)2777	
下丸子工場	〒146-0092 大田区下丸子2-20-4	TEL 03(3758)2510(代)	FAX 03(3758)8850	

株式会社セザックスクリエイティブ

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル2F TEL 03(3409)4970(代) FAX 03(3409)2732

株式会社セザックスインターナショナル

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル2F TEL 03(3409)0527(代) FAX 03(3409)6610



この小冊子には環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

この小冊子は再生紙を使用しています。